

審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	甲州市観光振興計画策定委員 第2回策定委員会
開催日時	令和5年1月11日(水) 午後3時から
開催場所	甲州市役所2階 第二会議室
議 題	1 第3次計画見直しについて(前回の内容 修正説明) 2 第3次観光振興計画見直し(案)の答申について 3 その他
出席委員	田代明彦、今村英香、山野壮仁、矢崎徹、草塩正国、古屋真太郎、深沢薫、手塚公彦、雨宮正明、大久保親雄
会議の公開又は非公開の区分	公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	
傍聴人の数	
審議概要	別紙のとおり
事務局に係る事項	出席者 観光商工課2名(大村リーダー、樋口)
そ の 他	

甲州市観光振興計画策定委員 会議事録（開催日 令和5年1月11日）

<p>内容</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 議題</p> <p>① 第3次計画の見直しについて</p>	<p>次第に基づき以下のとおり進められた。</p> <p>○事務局 大村リーダー</p> <p>議事進行 田代委員長</p> <p>15時00分 閉会</p> <p>（大村リーダー） 前回委員の皆様から頂いたご意見をもとに、訂正した内容を振興計画に反映し、お手元資料にお配りしました。 時点修正を前提に追記等しておりますので、ご了承ください。 世界農業遺産、プロモーションの強化、計画推進体制、ふるさと納税を使った観光の取り組みの4つについて反映させていただいております。 資料を基に説明し、各ページに追記・削除等しております。 今計画を実証し、次期計画に反映させていただきます。</p> <p>（古屋委員） 耕作放棄地の問題がある。畑の集約、畑の価値をブランディングにつなげる。10、20年後景観や農業の後継者問題など、ぶどうとワイン産地の維持のための仕組みづくりをしていただきたい。</p> <p>（大村リーダー） 世界農業遺産と寄り添った、観光振興が必要であります。遊休農地の問題や景観保全を今後の取り組む事業に入れ込んでやっていきたい。農林振興課やぶどうの丘とも共に連携しPRもしていきたい。</p> <p>（大久保委員） 世界農業遺産に認定された先進地が、国内の他の地区にもあると思うが、そのような地区が観光とどのようにかかわってきたかなど情報があれば、お聞きしたい。</p> <p>（大村リーダー） 甲州市の独自のPR活動を展開していければと考えている。また、国内の認定された他の地域も調べる中で、観光産業にどう生かしているかを参考にしていきたい。</p> <p>（大久保委員） 世界農業遺産が農林商工課の担当ということではありますが、一部分ではなくまちづくりということで考えていただきたいと思います。</p> <p>（矢崎委員） 日本には世界農業遺産は13か所あります。この世界農業遺産が、最大のブランドとっていて世界推進機構がありますので、全面的に協力してほしい。</p>
--	--

<p>② 計画見直しの答申について</p>	<p>(雨宮委員) 峡東地区において、果樹システムが世界農業遺産に認定されている。甲州市だけではなく、3市で連携しながら取り組んでいていただきたい。</p> <p>(大村リーダー) 笛吹市、山梨市と本市で3市連携ということで、事業を行っています。フルーツライドや近畿地方への観光キャンペーンをしております。世界農業遺産も認定されて間もないのですが、今後働きかけを行っていきます。</p> <p>(山野委員) 市役所内の各課での調整ということを度々されているが、世界農業遺産の取りまとめをされているのか。観光振興として、突っ込んだ取り組み、認定された世界農業遺産を観光課として地域の文化歴史を伝達できる観光産業に力を入れていただきたい。また、県との連携する中で、プレミアム商品券等、補助金等の関係で重要なポイントになっている。今後アピールをしていただきたい。</p> <p>(田代委員長) これまで2回の会議を開催しており、様々な意見が出ております。事務局には集約をしていただき、この計画の見直しに反映していただきたい。</p> <p>第3次計画の答申について</p> <p>(大村リーダー) 今回中期的なデータ数値の見直しを行いますが、約3年前からの新型コロナウイルス感染の影響で観光客数等の数値計画は大幅に半減変動しております。前の計画を大きく修正することではなく、時点修正というかたちで次期再来年には新たな計画を作ります。</p> <p>今回委員の皆様からいただいた意見で時点修正し今計画に反映し、答申とさせていただきたいと考えております。</p> <p>(田代委員長) 今後、事務局から再度、校正された計画案を送付していただき答申とすることでご了承いただけますでしょうか？</p> <p>(各委員) 異議なし</p>
-----------------------	--

③ その他

その他

(田代委員長)

何かありますでしょうか？

(大久保委員)

推進体制で観光立市推進協議会を組織することで削除して進めることで、組織して情報交換や意見の場、中心の場となるこれに代替えする場があるのか。

(大村リーダー)

代替えとなる場は考えていない。それぞれの分野や専門的知識の意見を聞き、2年間作られていなかった組織を今作ることはいかなものかと感じている。もう少し型ぐるしい組織を設立するのではなく今後、観光入れ込みデータ等を、年に1度ホームページに公開しながら、意見集約をしていきます。必要に応じて市内部の推進本部がありますので、協議していきます。

(大久保委員)

コロナ渦で計画の推進をする中で検証していくこと、市の観光立市推進本部が庁内に組織されているので、それだけでよいのかという点があります。

(大村リーダー)

推進本部で補っていくつもりです。

(山野委員)

ご意見番等広く一般へご意見を求めることは理解しましたが、その後意見はすべて公開しますか？

(大村リーダー)

誹謗中傷のなどのメール等も想定し市や市民に対して悪影響を与える場合もあることから、非公開と致します。

しかし、甲州市の状況を広く多くの方に周知することで観光商工業の運営に対し参考にしてもらいたい。